

あけまして
おめでとうございます



病院長 前田 芳信

ふれ愛コンサートに参加してくれたキティちゃん*と

新年を迎え、今年が皆様にとって健やかで穏やかな年となりますことをまずもってお祈りいたします。

さて、本院も昨年の末から多くの職員が休日を返上して新しい医療情報システムへの移行作業を行ってきました。病院をご利用いただく皆様にはご迷惑をおかけしないように注意して準備作業を行ってきました。しかし運用開始当初には、慎重に操作するためにかえて時間を要するなどの問題が生じることがないとはいえません。そのような際には何とぞご容赦くださいますようお願い申し上げますとともに、お気づきの点をご遠慮なくお申し出ください。正確な診療記録を残しかつ運用することが、安全で安心な歯科医療を提供させていただくためにも病院として大切なことと考えておりますので、どうかご理解のほどよろしく願いいたします。

*ふれ愛コンサートのキティちゃんの出演は、富国生命保険相互会社のCSR活動(ハローキティ病院訪問)によるものです。

内面

● 特集 1.

2016年を迎えての病院の初夢

- ・ 立体駐車場の建設・矯正科診療室の改修
- ・ 国際歯科医療センターでの受け入れ
- ・ 技工室の改修

● 特集 2. 電子カルテは未来志向

● 特集 3. 事務部のご紹介 第2回 総務課

ふれ愛コンサート・ハローキティ病院訪問
お口のマメ知識

裏面

● 2015年の統計情報

● 病院概要



2016年を迎えるにあたって歯学部附属病院の初夢をご披露したいと思います。
夢は、単なる夢ではなく実現することを目指すべきものと考えていますので、やがて現実のものとして目に見えるようにしてゆきます。

夢その1

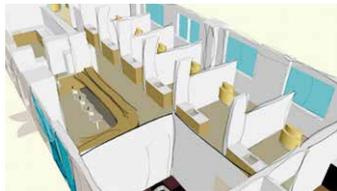
駐車場に立体駐車場を建設するとともに、その隣に現在本部前にあるバスのエンドループを歯学部附属病院前に移転します。現在でも水曜日など多くの患者さんがお越しになる日には駐車スペースが不足してご迷惑をおかけしていますが、今後の大学内の建築工事等でさらにスペースが限られることが予想されるため早期に対策を講じるとともに、その入り口を玄関に面したところに設置して利便性を向上します。またバスを利用されている方には、バスのエンドループを移設することでより楽に通院していただくと期待しております。



建設予定の立体駐車場イメージ

夢その2

矯正科診療室の改修を終えて、新たな環境での診療を行います。現在すでに着工している改修工事ですが、5月の連休明けには運用が開始できると期待しています。よりプライバシーが尊重され、導線が整備された診療室で矯正治療を受けていただけるようにいたします。また現在行っています水曜日の診療時間の延長も継続します。



矯正科診療室完成イメージ

夢その3

国際歯科医療センターで海外からの研修医を受け入れます。優れたわが国の歯科医療技術を、海外から学びたいという要望が増えてきていますので、短期、長期の研修が行えるように体制を整えます。

夢その4

技工室の改修を行います。以前ご紹介したように、病院での診療をささえる部門として技工は重要な部門であり、何箇所かの技工室を設置しています。

その中のひとつの総合技工室は平成22年に全面改修しましたが、まだ改修が必要な技工室が残っています。よりよい治療にはよりよい技工物を準備するためにも、これらをより清潔で効率的な技工室となるように改修したいと考えます。

第16回 年末ふれ愛コンサート

平成27年12月14日(月)
F棟5階弓倉記念ホール



みんなでバルーンアート！
やさしく教えてくれるサンタさんのおかげで上手に作れました。

病院訪問に来てくれたキティちゃんも参加してオープニングから盛り上げられます。

ガンバ大阪から特別に提供されたサイン入りサッカーボールや、ユニフォームの抽選会。

出演者、参加者全員で「見上げてごらん夜の星を」の合唱で締めくくり。

ハローキティ 病院訪問



各病室を回って、記念撮影

「食事の時に噛む力について」

口腔総合診療部 副部長 長島 正

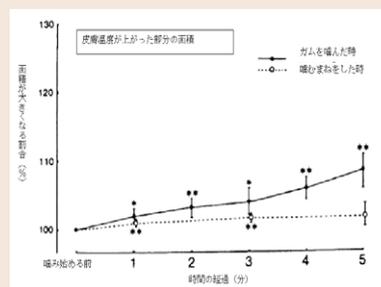
お口の
マメ知識



その1

患者さんから「硬いものをしっかりと噛まない、顎の機能が低下してしまう」という訴えを聞くことがあります。これは本当に正しいのでしょうか？食品を噛んでいる時の筋肉の活動の様子を顔面皮膚の温度変化から予測したデータがあります。筋肉が仕事をする時にはエネルギーを補給するために血液の流れが活発になり、温度が上昇することを応用した**実験**です。その結果、口の中に食べ物を入れないでものを噛むまねをただでは顔面の温度はほとんど変化しませんが、同じ時間だけガムを噛むと温度の高い部分の面積が広くなりました。さらに、ガムを長時間噛んでいると、スルメを噛んだときに匹敵するだけ顔面の皮膚温度が上昇しまし

た。この実験から、必ずしも硬いものを噛まなくても**噛む回数を確保**すれば筋肉への血液の流れが多くなることが分かります。すなわち、顎の機能を維持するために必要なのは食品の硬さではなく噛む回数であり、噛むまねをしても温度が上昇しなかったことを踏まえると、食品を必要な回数噛むことが



重要であると言えます。一方、ものを噛むときの力は個人差が大きく、小さい力で効率よく食事をする方や、歯を食いしばるようにして力を込めて食事をする方がおられます。後者に相当する方は加齢とともに歯の耐久性が低下しても強い力でかみ続ける事が多く、最悪の場合、歯が次々に割れてしまうことがあります。「硬いものを噛まなくても、必要な回数噛むことを続けていれば顎の機能は低下しない」ということを踏まえて、**食事を楽しんで**みてはいかがでしょうか。

←ガムを噛んだときと、噛むまねをした時の、顔面の皮膚温度が上昇した部分の面積を、噛み始める前を100%とした比率で表す。
土屋ら、(Jpn.J.Oral Biol., 32:93-102, 1990)より改編して引用。

電子カルテは未来志向

医療情報室 玉川 裕 夫

大阪大学歯学部附属病院は、口に関わる病気の専門医療機関です。院内では、カルテに書かれた内容、お薬、レントゲン検査など診療にかかわるたくさんの情報がやり取りされており、国際的にみても指折りの規模と精度で電子化を進めています。



図2 新サーバ室で患者情報を厳重管理

バ室で入室も制限し、厳重管理していますのでご安心ください。(図2)。

スパコンのデータも

また、口には、食べるといった生命維持のための機能から、発話・会話あるいは歌うなどの高次機能まで多くの役割があります。図3はスーパーコンピュータを使って流体力学計算をさせ、発音時の空気の流れを目に見えるようにしたものです。大阪大学歯学部附属病院の電子カルテはこのようなシミュレーション結果も取り込みますので、未来志向で活用されています。

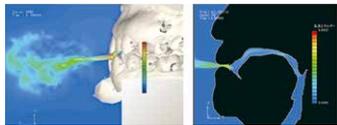


図3 上下の前歯スペースからた空気流(左)と舌・上あごのスペースを流れる空気流(右)



図1 電子カルテ画面例

必要な情報が瞬時に

例えば、日々の記録は図1のように画面表示され、限られた画面でたくさんの情報に対応できます。このような画面を通して、患者さんが診療科を移られても担当医は必要な情報が、時間をかけることなく見に行けます。これは紙のカルテではできなかったことです。

厳重な管理のサーバ室

なお、すべての診療情報ならびに個人情報については新しいサー

事務部のご紹介

事務部長 田中 一彦

第2回 総務課

今回は、前号に引続き事務部のご紹介をさせていただきます。事務部には、前号でご紹介いたしました業務課の他に、管理部門として総務課が設置されており、今回は総務課についてご紹介させていただきます。

総務課の仕事は直接患者さんに関わる事は少ないのですが、来院されるすべての患者さんに対して安全安心な歯科医療を提供できるよう、病院の機能や環境等の維持改善に関する業務を行っています。

具体的には、①病院運営委員会や安全衛生委員会など各種会議の書類準備 ②文部科学省、厚生労働省、保健所、大阪府等への各種届出 ③医師、看護師、歯科衛生士などの医療従事者や教員、事務職員など歯学研究科・歯学部及び附属病院で働く教職員の雇用・勤務管理・給与・福利厚生に関する事務 ④病院機能や診療環境の保持・向上のための工事や各種契約の締結 ⑤歯学部

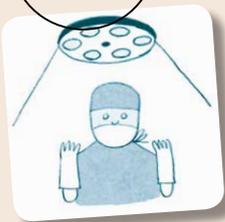
学生・大学院学生・臨床研修医、歯科技工士学校学生など、歯学研究科・歯学部及び附属病院で学ばれる方の事務手続や教務事務、このほか、病院運営にかかる予算の管理・執行、医療機器・診療用器具・歯科材料・医薬品・管理的物品等の購入などを行っています。

なお、前号でもお知らせしましたように現在2階で診療室の改修工事(完成は本年4月予定)を行っている影響で、1階受付の仮設場所で料金計算などの業務を行っており、また、工事現場の仮囲い設置等で廊下が狭くなるなどご不便をお掛けしております。工事は、来院される皆様にご迷惑をお掛けすることの無いよう、可能な限り診療時間外に行っております。より安全でより快適な病院とするための工事となりますので、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

「舌接触補助床 (PAP) による嚥下 (飲み込み)・発音の機能回復」

咀嚼補綴科 皆木 祥伴
顎口腔機能治療部 野原 幹司

お口の
マメ知識



その2

舌(べろ)が動かなくなったら日常生活にどんな影響があるでしょうか?

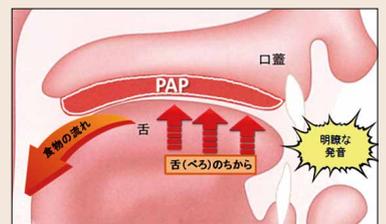
舌は、食物をとりまとめたのどへ送り、安全に飲み込むために非常に重要な役割を果たしています。また、会話をするときには、聞き取りやすい音をつくるため繊細に、すばやく動いています。舌の動きが悪くなると、お口の重要な機能である「食べる」、「しゃべる」がうまくできなくなる可能性があります。

舌がんをはじめとする口腔がんの術後には、手術により舌の動きが制限されてしまうことがあります。また近年増加する脳血管障害(脳梗塞など)や神経疾患(パーキンソン病など)では、舌の

動きが低下することが知られており、飲み込みの障害、発音の障害などが生じることがあります。

舌接触補助床(PAP)は、舌と上あごとの接触を回復する目的で使用する装置です。

舌と上あごの接触が回復することにより、食物の送り込みが容易になり、安全で効率的な飲み込みができるようになります。また、舌が上あごに接触するようになると言葉が明瞭になります。大阪大学歯学部附属病院では、舌接触補助床(PAP)の製作から、飲み込み・発音の評価およびリハビリテーションまでを、咀嚼補綴科と顎口腔機能治療部が連携し行っています。



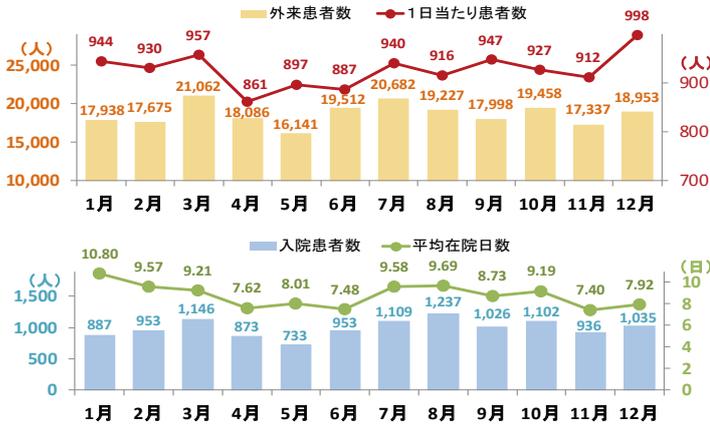
舌接触補助床(PAP)のしくみ
PAPによる舌と上あごの接触の回復



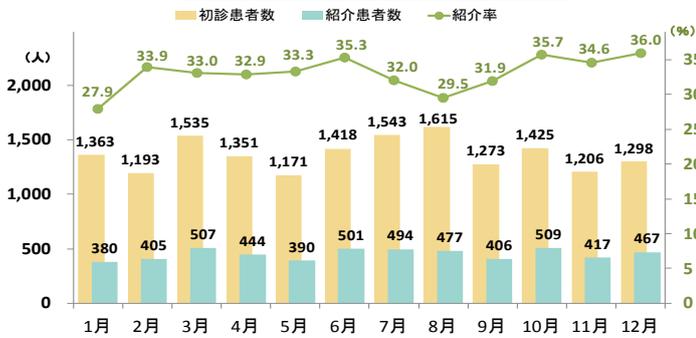
舌接触補助床の使用例(舌がん術後)

2015年(1月～12月)患者数等統計

外来患者数・入院患者数

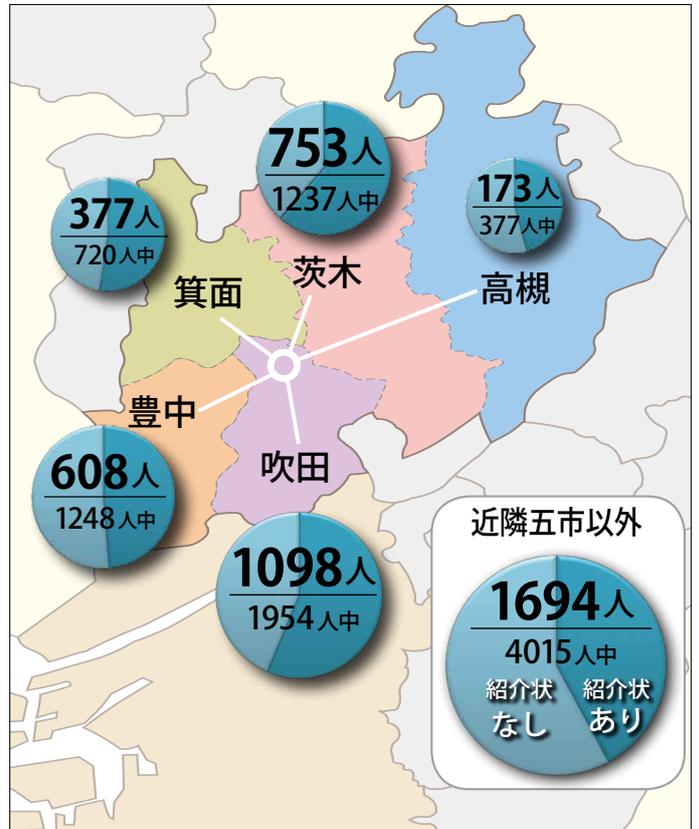


初診患者数と紹介患者数比率



近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数

2015年1月～12月の集計



病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）
【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。
夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえお越しください。

入院患者さんへのご面会時間は、
12時から19時となっております。

病院へのアクセス

http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車でのお越しの際は、西門（歯学部門）よりお越しください。なお、平日夜10時以降、土、日および祝日は、千里門よりお越しください。

看護師募集中！

—お問合せ—
歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで